

## 令和6年度 第1回大和市障がい者福祉計画審議会 会議録（要旨）

日時 令和6年8月1日（木） 午後7時30分～  
場所 大和市保健福祉センター5階 501会議室  
出席委員 委員【11名】  
傍聴人 1名

### 会議次第

1. 開会
2. 委員紹介
3. 計画策定委託業者の紹介
4. 会長及び職務代理の選出
5. 議題  
(1) 大和市の障がい児者の状況について  
(2) 次期障がい者福祉計画策定に係る意識調査について  
(3) 次期障がい者福祉計画策定に係るヒアリングについて
6. その他
7. 閉会

### 会議資料

- (1) 大和市の障がい児者の状況について 【資料1】
- (2) 次期障がい者福祉計画策定に係る意識調査について 【資料2-1～3】
- (3) 次期障がい者福祉計画策定に係るヒアリングについて 【資料3-1～2】

### 【議事要旨】

#### 議題5（1）【大和市の障がい児者の状況について】

事務局：【資料1に基づいて説明】

質疑・意見なし

#### 議題5（2）【次期障がい者福祉計画策定に係る意識調査について】

事務局：【資料2-1～資料2-3に基づいて説明】

委員：今回、新規に追加した問65（今後、大和市にどんなことに力を入れてほしいですかという質問）は、とても良いと思うが、選択肢の文言がざっくりし過ぎていて具体的に何を求めているか、言葉として大きな括りではなく、具体的なサービス名があった方がいいのではないかと。

事務局：具体例があるとわかりやすいということであれば、選択肢の後ろに、例えば、アスタリスク（\*）みたいな形で、注意書きして、ある程度イメージを持っていただくということはどうでしょうか。あまり細かくしてしまうと、この計画の趣旨から、少し外れてしまうので、例示を上げるということはどうでしょうか。

委員：注釈が書いてあると、参考になって良いと思う。

### 議題5（3）【次期障がい者福祉計画策定に係るヒアリングについて】

事務局：【資料3-1～資料3-2に基づいて説明】

委員：ヒアリングは全団体・機関を必須で実施するのか。それとも、要望があった団体・機関のみを対象とするのか。

事務局：調査の継続性という観点から、調査の対象となっている団体・機関は調査対象として考えています。

### 議題6 【その他】

委員：令和7年度からの計画を策定することになるが、いつごろできるのか、過去の令和6年度までの計画の評価はどのようにされているのか、公表されているのか、そこがお聞きしたいです。

事務局：策定につきましては、資料5で現時点での今年度中の策定スケジュールは説明します。検証・振り返りについては、進行管理という形で、当審議会でご報告させていただいております。

委員：さっき審議されたアンケートやヒアリング調査の結果は、第2回の審議会でご報告されるということでしょうか。

事務局：全体の最終的な集計は、9月下旬の第2回では難しいので、第3回までに、最終的な集計分析をもって、報告したいと思います。第2回では、調査中の内容を単純集計も交えて、報告できればと思います。

委員：そうすると、先ほどの意識調査、ヒアリング調査、前回の進行管理の結果は、中間報告という形で、第2回に資料として提示されるということでしょうか。

事務局：はい。

委員：特別支援学級とは、いわゆる不登校や引きこもり、身体障がい等の学童の人数なのでしょうか。資料1の一番後ですね。こんなに人数が多いのでしょうか

事務局：地域の小中学校に通っているお子さんの中で、支援の必要なお子さんが在籍しているということになります。知的障がいや肢体不自由等で支援が必要なお子さんが通う学級で、年々増加傾向になっています。

委員：不登校の生徒の学級を1つ作ったと聞きましたが、それとは別ですか。

事務局：不登校の方については、もともと青少年相談室というところが主管でまほろば教室を設置しており、令和4年度に学びの多様化学校も、不登校の教室として設置しています。

委員：特別支援学級の児童生徒数となっているので、支援学校に行っている児童・生徒は含んでいないということですか。

事務局：そうですね、地域の小中学校の特別支援学級にいるお子さんで、支援学校に行っているお子さんは含まれていません。

委員：あと、大和市市民活動拠点ベテルギウス3階の不登校の方が行ける場所は、支援級の子どもが対象で、一般の学校の不登校の人とは別ですか。

事務局：通常の学級に在籍のお子さんもありますし、特別支援学級に在籍のお子さんもあります。

委員：そこに区別はなく、行きたい場合は行けるということでしょうか。

事務局：保護者の方と相談の中で通室するかどうか考えます。特別支援学級に在籍のお子さんでも集団行動に支障がないお子さんがいたり、個別に1対1で支援が必要なお子さんもいらっしゃいます。その場合は、ベテルギウス3階の「まほろば教室」ではなく、特別支援教育センターにある「ひだまりの教室」に通われている方もいます。

以上